



広報

ごよがわら

発行所
五所川原市役所
423号

昭和53年5月15日

印刷 西北印刷

市の人口 男 25,195人
52,117人 女 26,922人

世帯数 14,182

(昭和53年4月1日現在) 住民基本台帳から



岩木山の裾野から白い影
が消え失せると、春と初夏
が一緒にやって来ます。
花も若葉も噴き出すように
やってくるのです。
長くきびしい冬から解放
された小鳥たちはもうじつ
としておられなく、東の空

にのぼる陽を待ちかねて騒
ぎ出します。
小鳥のさえずりに人々の
目覚めも早く、朝食前の運
動もにぎやかになります。
体操、散歩、なわ飛び、マ
ラソン、いろいろさまざま
見られます。

さあさあ今年から、こど
も、年寄り誰にでもできる
運動できました。その名は
トリムジョッキング、はじ
めて聞いた名前です。
五月の風もさわやかに、
さくら散るなか、若葉のも
えるなか、うまい空気を胸

いっぱい、宝の健康つくり
ます。
こんどはみんなで参加し
たい。父さん、母さん、じ
いさんも、みんなで走ろう
ジョッキング。
(写真 八幡宮境内で)

ゆっくりでも走ろう

ジョッキングコース市にオープン

東北で三番目、県内では初めてというトリムジョッキングコースが、四月二十九日オープンし、チビッ子からお年寄りまで約六百人の市民が参加して、走り初めを行いました。

ジョッキングとは、「そつと揺する」、「除々に進む」といった意味で、「背すじを伸ばし、よくリラッ

クスして、ゆっくり走る」ことをいいます。

したがって、トリムジョッキングコースは、健康・

体力の保持・増進をはかるため、だれでも気軽に自分の体力に合わせて走れるランニング施設で、二百メートルに標示板を設置しているので、走る人の年齢に応じて走行時間を調整することが出来るほか、年齢と走行距離・時間の比較で体力測定もできます。



この日は、午前六時過ぎから市庁舎前のおまつり広場で、集まった参加者に対して寺田市長が「県内で唯一のランニング専用コースができました。気軽にこのコースを利用し、健康づくりに大いに役立ててください」とあいさつ。参加者全員がラジオ体操で体をほぐしたあと、テープカットし一斉にスタートしました。

コースは、おまつり広場をスタートラインに、岩木川堤防↓浄水場↓折り返し地点↓八幡宮↓柳町↓おまつり広場までの延長三千メートルですが、この日は、初日であり多数の幼児の参加もあって千八百メートル短縮したコースを、朝のすがすがしい空気を胸いっぱいにするいながら、マイペースで完走し、参加者全員が心地よい汗を流していました。

このトリムジョッキングは、ランニングの専用コースとして十月まで一般に開放いたしますので、いつでもお気軽にご利用下さい。

なお、「ジョッキング」の正しい走り方のパンフレットを差しあげますので、ご希望の方は市教育委員会保健体育課(☎⑤二二二一番・内線二四九番)へお申し込み下さい。



飯詰、38年ぶりの再会

旧満州に開拓団の家族とともに渡り、終戦の混乱で中国家庭に預けられた木村忠義さん(四一)中国名・趙忠堂は、四月二十七日二男の偉友さん(一八)と一緒に一時帰国し、市内飯詰で大工をしている長兄の孝さん(四五)と三十八年ぶりに再会しました。

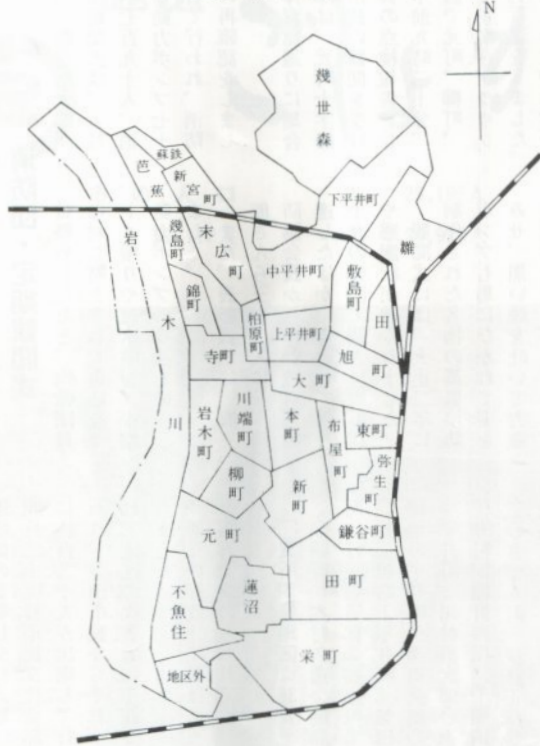
忠義さん兄弟は、昭和十五年五月両親につられて満州に渡り、一家は間島省琿春県で開拓に従事していました。父豊一さんは、現地召集を受けてのちシベリアに抑留、引き揚げ後死亡しています。

忠義さん父子、一時帰国

五月一日、孝さんと市庁舎を訪れた忠義さん父子は、寺田市長と握手、小野稔さんの通訳をおして、「祖国はなつかしい。一日も早く中日友交条約が実現することを期待しています……」と語っていました。

終戦による混乱と食糧難から母イマさん、長女サダさん、祖母ナヨさん

昭和53年度地籍調査実施 五所川原地区



市街地の地籍調査を実施

市では、五十三年度の地籍調査を次の三・六〇平方キロの範囲を対象に行います。

地籍調査は、正しい測量によって新しい地図と帳簿(地籍図と地籍簿)を作り、皆さんの土地の正しい位置形・地番・地目・面積を明

立ち合いに協力を

らかにするための調査です。

□調査地域 左図のとおりです。

□調査期間 六月一日から十月三十一日まで

□現地調査の際 ○土地の所有者に立ち合います。

筆地測量のもとになりますので、調査の際の立ち合いが大切です。

□地籍調査をすると 従来の土地台帳や地図が正しく書き換えられ、次のような効果があります。

①境界紛争がなくなります。

②土地の権利が侵害されることもなくなります。

③農業経営の合理化に役立ちます。

④課税負担の不均衡がなくなります。

この日は、現地調査後の一

青年海外派遣

参加者を募集

県では、五十三年度の青年海外派遣を、八月二十六日から十九日二十日の日程でソビエト、デンマーク、スイスなど七カ国を対象に行うことになり、参加者を募集しています。

□募集人員(当市への割当) 一人。

□応募資格 市内に住んでいる二十歳以上三十歳未満(四月一日現在)の健康な男女。

□負担金 三十五万四千円のうち個人負担は十一万八千円です。

□申込締切り 五月二十三日(火)

□申込先 市教育委員会・社会教育課(☎⑤二二二〇 一番・内線二二五〇番)へ

更年期について

みんなの健康教室

医師会と家庭を結び、みんなの健康教室「更年期について」を次の

0のつく日に街頭指導

市交通安全母の会

市交通安全母の会(小田原ミツ会長)の五十三年度総会は、四月二十七日市消防本部に約五十人が出席して開かれ、0のつく日に街頭指導を行うなどの新しい事業計画を決めました。

事業計画では、ほかに主婦の立場から家庭内における交通安全思想を高めるため、毎日家族だんらんのとき、外出の際、車に気をつけるよう一声運動を行う。

交通安全運動についての研修・講習・映画会などの交通安全教室を開催し、交通安全のステッカーの普及を図ることも決めました。

踏切の通行はいったん停止を

春の農繁期に入り、踏切を通行する機会が多くなりますが、例年この時期は、踏切事故が多発の傾向にあります。

昨年五月に農作業に衝

突するとう事故が連続して二件発生し、運転者一人が即死、一人が重傷という痛ましい結果となっています。

このような踏切事故を絶滅するため、踏切通過の際

には次の点に十分注意して下さい。

□確実にいったん停止を行い、左右を確認して安全通行をすること

□なるべく警報機やしゃ断機の設備された踏切を利用すること



蒸気ポンプも姿みせ

消防団・定期観閲式

市消防団(鶴谷初太郎団長)の定期観閲式は、五月八日団員約七百九十人、消防車・小型動力ポンプ七十台が参加して行われ、消防活動態勢の再確認をしました。

また、表彰式では、原三郎さんら三十二人に日本消防協会長からの勳章を伝達したほか、合わせて百八十九の分団・個人に表彰状や感謝状が贈られました。

観閲式には、大正二年に制作された名物の蒸気消防ポンプも馬にひかれて姿をみせ、黒い煙を吐いて力強く放水していました。



国民金融公庫からお願い

国民金融公庫では、事務処理の迅速・正確を期するため総合オンラインシステムを導入し、六月九日から実施することになりました。

このため、資金の貸出し等は、オンライン移行準備などのため五月二十二日から六月八日までの間貸出しが保留されますので、期間に資金の必要な方は、早目に手配して下さい。

新行政連絡員決まる

よろしくお願ひします

- 昭和五十三年度、市行政連絡員の委嘱状交付式は、四月二十四日市民文化会館に約二百二十人が出席して行われ、寺田市長からそれぞれ、地区の代表者に手渡されました。
- 新しい行政連絡員は百五十四人で次のとおりです。
- 〔五所川原地区(38人)〕
 - 錦町 木村久造◇幾島町 江良善五郎◇柏原町 高松三雄◇上平井町 氣田勝治◇平井町 津川武雄◇中平井町 川村貞次郎◇下平井町 幡野善保、千葉清三◇さつき町 伊藤正彦◇敷島町 小
 - 山友一◇東
 - 雲町 木村
 - 一雄◇旭町 斎藤隆◇大町 石井柁次郎 ◇寺町岩木町 福土孝一 ◇末広新宮町 松本一雄◇末広町 小野清茂◇布屋町 黒滝嘉一郎◇本町 葛西專造◇東町 中村孫六◇弥生町 沢田誠三◇鎌谷町 藤森正夫、横村芳夫◇川端町 山田四ツ男◇第一柳町 対馬左郁夫◇第二柳町 葛西富藏◇成田町 金沢定雄◇元町 藤田一二三◇新町 唐牛行雄◇田町 鹿内雄蔵◇栄町 福士周蔵◇田園調布 尾崎武三◇十川町 前田貢◇平和町 野呂甚助、笠井長三郎
 - 〔難田 平山昭三◇小曲三浦行一◇沼田町 古川ミツエ◇八重菊 葛西清作◇湊団地(2人)〕
 - 第一千鳥町 小田桐岩男◇千鳥町 加藤忠吉
 - 〔松島団地(8人)〕
 - 一丁目 藤田善太郎◇二丁目 長尾与広◇三丁目 沢村繁◇四丁目 葛西勇三郎◇五丁目 成田重三◇六丁目 白川久夫◇七丁目 松川千代男◇八丁目 葛西一次
 - 〔新宮団地(4人)〕
 - 市営住宅 林一夫◇県営住宅 鰐田恵美子◇第一町内会 松本政喜◇第二町内会
 - 〔松島地区(19人)〕
 - 吹畑 毛内千代太郎◇唐笠柳 高橋一二郎◇石岡佐々木嘉四太郎◇水野尾清野謙六、太田秀二郎◇漆川 吉村嘉右エ門◇太刀打 新谷良一、荒岡栄、山形豊太郎◇一野坪 対馬佐三雄、島谷寅之助、山口平内◇馬性 伊藤善吉◇金山平山茂雄、渋谷武則、村田富造、対馬昌一◇米田 対馬国雄◇二本柳 千田正五郎
 - 〔長橋地区(12人)〕
 - 浅井 笹森豊弘◇福山
 - 〔飯詰地区(14人)〕
 - 坂ノ上南
 - 新 平山政雄◇北新中町 木村勉◇新町大町 今広勝◇伝助町下町 横山柁吉◇上町寺町 中谷庄左エ門◇大正町 木村末四郎◇大日町 山口昭造◇南下中下 岩田柁吉◇長坂 太田藤一郎◇曙町 和田米八◇興隆朝日 太田兼雄◇下岩崎 其田みよの◇五本松北下 三上兼松◇下村 中谷一郎
 - 〔七和地区(10人)〕
 - 高野 堀内謙司、斎藤亥之、福士信悦◇前田野目 斎藤勇、斎藤勇造◇持子 沢 山内清三郎◇羽野木沢 阿部義爾◇原子 阿部俊
 - 〔中川地区(9人)〕
 - 川山 秋田平内、藤森竹松、松沢栄◇沖飯詰 秋田嘉太郎◇桜田 笠井敏江◇中泊 笠井政道◇種井 奈良岡賢一◇田川 平山清一◇新宮 原定五郎
 - 〔毘沙門地区(8人)〕
 - 毘沙門 沢田嘉四太郎、太田藤太郎、北川柁昭、山口栄太郎、山口吉太郎◇長富 増田光信、猿賀金藏、木村千代作
 - 〔栄地区(16人)〕
 - 湊 平山弥助、平山千代吉◇姥池 藤田盛栄◇猫淵 藤田忠造◇三ツ谷 石沢豊太郎◇稲実 山内惣馬太郎、加藤藤男◇広田 山田新太郎、毛内喜代三◇七ツ館 葛西要五郎、蝦名誠一◇みどり町一丁目 坂本弘◇同二・三丁目 西村達志◇同四丁目 成田喜代次郎◇同五丁目 蝦名馨◇同七丁目 須崎正弘 (敬称略)

老人ホームにテレビ贈る

市内中平井町の古川勇造さんは、四月十日養護老人ホーム「くるみ園」にカラテレビ一台を寄贈しました。

広報紙の早期配布にご協力下さい